

# 私たちの声を届げるために

# VOTE

2020年の新型コロナウイルス感染症拡大とそれを防ぐための自粛要請に対し、「#自粛と補償はセットで」という市民の運動によって「一人一律10万円」の支給を勝ち取りました。また、労働組合も雇用と生活を守るために、声をあげてきたことによって雇用調整助成金の特例措置や延長、休業支援金の創設など多くの改善を図ることもできました。声をあげて政治を変えてきました。

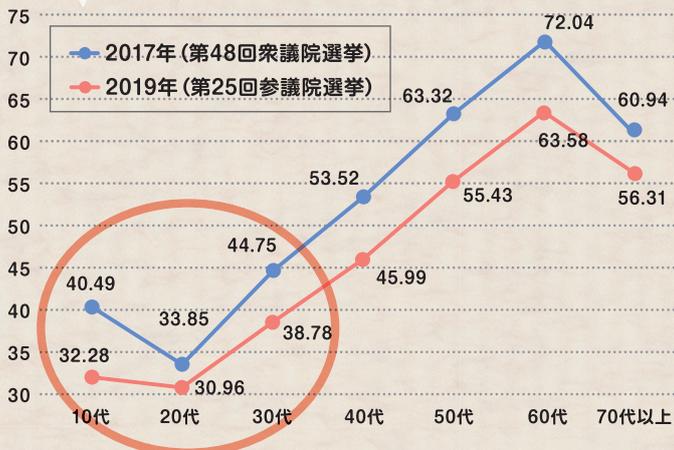


いま世界中で、武器や核兵器ではいのちやくらしは守れないとの声が広がっています。「増大する軍事費を医療に、給付型奨学金に、雇用や、芸術などの文化を守るために」、この社会を生きる私たちが「声」をあげ、要求を政治に届けるため、選挙へ行って「未来に希望が持てる政治の実現」をめざしましょう。



## 未来をつくるのは 私たち主権者！

総務省：国政選挙における年代別投票率



10～30代の投票率は他の年代と比較すると圧倒的に低く、衆参合わせて約37%。これでは私たちの願いは政治に反映されません。フィンランドの首相は34歳の女性。世界では30代の閣僚も！現内閣の平均年齢は61歳。若者や多くの国民が投票して日本の政治にイノベーションを起こそう！

国政私物化政治は終わりにしよう！



## 国民が政治を動かした！

2020年に行われたアメリカ大統領選挙では、トランプ前政権で深刻化した貧困と格差に対して、最賃15ドルへの引き上げや男女同一賃金の実現などを掲げたバイデン氏が新たな大統領となりました。アメリカの労働組合は、大統領選挙でバイデン氏勝利に向けてたたかい、最賃引き上げや富裕層への課税強化や「連邦最賃15ドル」を表明させるなど選挙の中で要求を大きく前進させています。この選挙は、Z世代と呼ばれる16～25歳の若者たちが大活躍。トランプ氏の価値観に反発し、黒人差別や女性差別、LGBTQへの差別・偏見に立ち向かい、投票率を倍増させました。日本でも、私たちの声を政治に反映させましょう！

全国一律  
最低賃金  
1500円

休みが  
もっと  
ほしい！

## どうして労働組合が 選挙のことを言うの？



選挙に  
関する情報は  
全労連HPを  
check!

政治の話はタブーではなく、自分たちがどう生きるか、暮らすか、働くかにかかわること。私たちが選挙に行かないと願いや要求は制度をつくって国に届きません！

投票で私たちの「声」届けよう。



# 4割の得票で、 8割の議席ってあり!?

4割の声で決まる政治を  
みんなの投票でアップデートしよう!

日本の選挙制度は小選挙区制と比例代表制を組み合わせで行われています。2012年の衆院選(小選挙区)で自民党は4割の得票で8割の議席を獲得。1996年から始まった小選挙区制度(当選するのは1人だけで2位以下の得票は死票化)によって民意を正しく反映しない状況が続き、投票率も低下中。今まで選挙に行っていない人たちが選挙を変えるカギを握っています!多くの国民が投票すれば、この現状を変えることができます!

世界と比較しても低すぎる!  
政治におけるジェンダーギャップ

男 女  
5:5の社会のルールは  
8:2の代表によってつくられている

国会議席全体数の男女比(現在)



男性 90.1% 女性 9.9% 男性 77.5% 女性 22.5%

▲選挙に行かずに放っておくと  
こんなことに…

2021.7月末現在

選択的夫婦別姓など、ジェンダー平等を作るためには現状よりもっと女性の代表がいた方がいいはず。これも選挙に行けば変えられる現状の1つです。

# 最初はたった1%の人の 声しか届かなかった

日本で初めて選挙が行われたのは1890年、当時は直接国税15円以上(現在で60万円~70万円)を納めている満25歳以上の男性のみで全人口の1%程度しか投票できなかったと言われていました。

# 誰もが投票できるように

1945年(昭和20年)に満20歳以上の男女すべての日本国民が選挙権を手に入れました。

# 70年ぶりの選挙権 年齢引き下げ

18歳・19歳が加わって、  
若者の声をより大きく届けられるように

平成27年(2015年)には選挙権年齢が満20歳から満18歳に引き下げられました。全人口のたった1%の人しか行使できなかった選挙権ですが、現代のように誰もが当たり前投票できるようになったのは当時、その制度の問題点を訴え、声をあげた人たちがいたからです。国民の声と運動で手にした私達の選挙権、投票に行行って行使しませんか?

投票って  
どうやるの?

## HOW TO VOTE

公示・告示の前日時点で、今お住まいのところに3ヶ月以上住民票があれば、お住まいの市区町村で投票できます。



### 1 朝7時~夜8時まで 投票日に投票しよう

選挙前に送られる投票所入場整理券を持っていきますが、整理券がなくても投票できます。

### 3 投票日にいる場所で投票できる 不在者投票も活用しよう

※郵送のやりとりにかかるため、早めに手続きしましょう

### 2 仕事や旅行で投票日に投票所へは行けない 公示・告示日の翌日から投票日前日までOK 期日前投票しよう

朝8:30~夜8:00まで。投票所や時間はHPなどでcheckしよう

投票にかかる時間は数分。あなたの思い伝えよう!

ZENROREN 全労連  
www.zenroren.gr.jp

